

## プログラム名

対 象：(学校種や学年など)  
 人 数：(最少催行人数から最大人数など)  
 教科／分野：(教科や分野との関連があれば)  
 授業時間数：(単発でも、連続でも可)  
 場 所：(屋外の場合は雨天時の対応も)

\*このフォーマットは、余白を詰めています。適宜広げて使ってください。

ESD プログラム への思い	(今回、ESD を意識したプログラムをつくるにあたって、「これを大切にしたい!」「こういう考え方を意識した」「こんな視点を重視した」というものを記述してください)		
目 標	(このプログラムをつうじて、学習者がなにをできるようになることを目指しているのかを簡条書きしてください。その際、「学習者が・・・をできるようになる」「学習者が・・・を考える」「学習者が・・・を習得する」などのように、学習者を主語として表現してみてください)		
特 徴	(他のプログラムとの違い、工夫した点、地域の特性など、このプログラムの特徴について簡条書きしてください)		
持続可能な社会づくりの構成概念	(このプログラムと、持続可能な社会 (SD) を実現する 6 つの構成概念[多様性・相互性・有限性・責任性・連携性・公平性]とのつながりを記述してください)		
重視する 能力・態度	(このプログラムをつうじて学習者に修得してもらいたい能力・態度があれば、記述してください。①批判的に考える力、②未来像を予測して計画を立てる力、③多面的、総合的に考える力、④コミュニケーションを行う力、⑤進んで参加する態度、⑥つながりを尊重する態度、⑦他者と協力する態度)		
プログラムの流れ			
内容：(活動内容を具体的に記述してください)			
方法：(講義・体験など活動の実施方法を記述してください)			
場所：(活動を実施する場所(田んぼ、清掃工場、教室など)を記述してください)			
ねらい：(各活動で意図しているねらいを記述してください)			
時 間	ねらい	方法 場所	内容
SDGs との関連性	(プログラムと SDGs との関連性がある場合、記述してください。*169 の具体的なターゲットを示せる場合は、「14.1・・・」のように記述してください)		
学校・地域等との 連携上の考慮	(学校・団体・地域等との連携上、考慮すべき点があれば記述してください)		
対象を発展させる 可能性	(もし、他の学年や学校種などを対象に発展できそうであれば、そのための工夫などを記述してください)		
その他 補足事項	(準備するものを指定するものがあれば記述してください)		

プログラム作成者名 (団体名) :

## SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業(2018 年度)

この事業は、地域リーダーが地域版 ESD プログラムづくりをしながらお互いに育ち合う活動を通して、千葉県内に地域 ESD リーダーを育成していく活動です。

1 年目の 2018 年度は、環境省の「ESD モデルプログラム」を元に、まずは ESD の視点を学び、リーダー自身が既に使っている環境学習プログラムを、ESD の視点を入れたプログラムとして見直していく方法で実施しました。

7 月 19 日は、グループ「地球温暖化・水・資源循環・生物多様性」ごとにモデルプログラムを地域版 ESD プログラムにするワークをしていただきました。

9 月 18 日には、1 ヶ月の間にグループ単位で集ったり、メールで意見交換しながら修正をして、地域版 ESD プログラムとして発表しました。その午後には、SDGs プラットフォームを検討するメンバーにも聞いていただき、ご意見をいただきました。また、この回よりファシリテーターとして石井雅章氏（神田外語大学）に参加いただきました。

11月26日に、グループでプログラムのブラッシュアップの後、プログラムづくりから課題になった「学習者が習得できるESDの視点」について、全員で意見出しをしました。また、プログラムのフォーマットを全員で検討しました。

このフォーマットに各々が内容を入れて、1月21日にはみんなでふりかえり、「ESDの視点を入れたプログラム」を更に検討しました。

2月8日には「地域リーダーが作った ESD プログラムガイドブック」素案出しをして、参加者が意見を出し合い、まとめたものが今年度の成果物であるこのガイドブックになります。

このガイドブックの中「ESDモデルプログラムづくりの流れとプログラムシートの読み方」で、ファシリテーターの石井雅章氏が、「ESDプログラムは与えられるものではなく、目の前にいる学習者と持続可能な社会づくりを結びつけるために、自分たちで考え、実践しながら、更新していくものと言えます。」と書いておられます。来年度実施を予定している千葉県北部のESD地域リーダー育成にも活用が期待されます。

ニュースレターの中の2面3面を使って、13人リーダーの15プログラムの概要を一覧で載せています。文字が小さく読みにくいかもしれませんが、ガイドブックが見たいと思ったださった方には、メールでお送りできますので、お申し出ください。また、皆さんで練り上げたプログラムのフォーマットも書き方付きで4面に掲載していますので、参考までにご覧ください。

来年度、再来年度のESD担い手育成事業にもご協力のほどよろしくお願いいたします。

